

平成 26 年 3 月 18 日

<各位>

ナノキャリア株式会社  
代表取締役社長 中富 一郎  
(4571 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CFO兼社長室長 中塚琢磨  
電話番号 03 - 3548 - 0217

## Antibody/Drug-conjugated Micelles に関する物質特許が 米国にて特許査定を受けました

がん細胞や疾患部位を標的にしたセンサーを結合し、薬物を患部へ確実に、大量に送達することを目的としたAntibody/Drug-conjugated Micelles (ADCM) に関する物質特許が、米国において特許査定を受けました。本件特許は、日本、欧州、カナダ、オーストラリア、中国で成立しており、米国地域においても知的財産権を確保できてワールドワイドな知的財産となりました。

【発明の名称】 薬物内包アクティブターゲット型高分子ミセル、医薬組成物  
【出願番号】 12/672,496  
【特許権者】 ナノキャリア株式会社

本特許発明は、従来のミセル化ナノ粒子表面にセンサーとなる抗体などを結合することで、さらに患部への集積性を高め、副作用をより軽減することが期待される次世代型の当社コア技術であり、アクティブターゲティング<sup>※</sup>を可能とする次世代型プラットフォーム技術の物質特許です。

今後、医薬品開発の中心となり得る抗体医薬品などに適する技術であり、当社は本技術を用いた新薬の研究開発を最優先と位置づけております。本技術は、製薬企業の製品ライフサイクルマネジメント戦略に適合し、これまで副作用や効果の点で陽の目を見ずに埋もれている新薬候補を再生する技術といえます。このようなコンセプトの下、既に他社との共同研究も推進しております。

尚、本件による平成 26 年 3 月期業績への影響はございません。

### ※アクティブターゲティング

標的細胞を狙った能動的なターゲティング療法です。がん細胞など病変部位に現れる特異的な抗原を認識するセンサー（抗体など）を利用し、病変部位への送達選択性をより高めます。患部への集積性を高めることで効果および安全性をさらに向上させることが期待されます。

以上